

平成31年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：国際関係論

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計4ページで8問ある。

1. 国際政治学
2. 国際政治経済学
3. 比較政治学
4. アメリカ政治

8問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 国際関係論

出題分野名 国際政治学

**問題1** 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明した上で、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) 福田ドクトリン
- (b) G7サミット
- (c) 大西洋憲章
- (d) 日ソ共同宣言

(1) 勢力均衡(balance of power)概念について説明し、現代の国際政治におけるその概念の有効性について論じなさい。

(2) 1990年から91年にかけての湾岸危機・湾岸戦争が国際政治に与えた影響について論述しなさい。

**問題2** 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明した上で、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) 北大西洋条約機構 (NATO)
- (b) アセアン地域フォーラム
- (c) 安全保障のジレンマ
- (d) ベルリン危機

(1) 同盟には「巻き込まれ」と「見捨てられ」のリスクがあると言われる。二つのリスク概念について説明した上で、日米同盟が日米双方にとってどのようなリスクを持っているか論述しなさい。

(2) 集団安全保障の概念について説明した上で、現実の集団安全保障体制がもつ限界について説明しなさい。

科目名 国際関係論 出題分野名 国際政治経済学

**問題1** 企業、投資家、消費者という民間アクターが取引を行う国際市場において、国家のパワーが重要であるという主張があるが、その主張について説明し、妥当性を吟味しなさい。

**問題2** 主権国家が枢要なアクターと位置づけられる国際ガバナンスにおいて、国際機関が演じる役割について、少なくとも2つの理論的観点から論じなさい。

科目名 国際関係論 出題分野名 比較政治学

**問題1** 国民形成、民主化、福祉国家確立はたがいどのように連関していると考えられるか。近代ヨーロッパ史に基づき、具体的かつ多角的に説明しなさい。

**問題2** 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

- (1) 各国の議会制は、どのように分類・比較することができるか。分類・比較のための観点をかならず複数挙げ、それぞれの類型とその特質について具体的事例を挙げつつ説明しなさい。
- (2) 現代のヨーロッパ諸国においてしばしば指摘される「ポピュリズム」現象について、その意味を明らかにしたうえで、それをもたらす背景的要因が何であり、また民主政治にどのような影響を及ぼすと考えられるか、できるだけ多角的に論じなさい。

科目名 国際関係論

出題分野名 アメリカ政治

**問題 1** アメリカの政党は長らく、ヨーロッパの近代政党とは異なった組織構造を持つと考えられてきた。しかし近年では、アメリカの政党組織はヨーロッパ諸国の政党組織に近似しつつあるという指摘がなされることもある。近似はいかなる点において、なぜ生じているのか。できるだけ多面的に論じなさい。

**問題 2** 以下の問いから 1 問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) アメリカ連邦議会は、1970 年代にいくつかの重要な自己改革を行った。そのうちの 1 つを取り上げて、改革の背景、具体的内容、および帰結を明らかにした上で、なぜそのような帰結に至ったのか、できるだけ多面的に論じなさい。

(2) アメリカ合衆国憲法の修正第 14 条について、それが何を規定しているかを明らかにした上で、いかなる解釈の変遷があったのか、その変遷がアメリカ政治に対していかなる影響を与えたのか、なぜそう考えられるのか、できるだけ多面的に論じなさい。